



石井かずみ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

北千葉道路市川一小室IC

都市計画・環境アセス

着手へ手続き進む



登壇し、一般質問を行う石井一美県議

鎌ケ谷市の市勢発展に力を注いでいる石井一美県議は9月定例県議会で一般質問に立ち、鎌ケ谷市に関する北千葉道路問題や国道464号粟野バイパス、新京成線連続立体交差事業などについて県の考えを聞きました。首都圏北部と成田国際空港を結ぶ北千葉道路では市川市から船橋市までの区間の取り組みを質問、森田知事から「国の協力をいただきながら速やかに手続きに着手し、早期事業化に向け取り組んでいく」との答弁を得ました。

9月県議会一般質問

石井議員 成田国際空港の機能強化や新総合計画案において目標として掲げている観光客数や航空旅客数の増加を踏まえ、ますます北千葉道路の必要性が増したと思う。
北千葉道路を整備することにより、首都圏北部と成田国際空港間のアクセス時間が大幅に短縮し、利便性が向上し、首都圏の国際競争力を高めるとともに、沿線の経済活動の活性化に寄与し、さらに大規模災害発生時の緊急物資の輸送路や避難路としての役割も期待される大変重要な道路である。

知事 北千葉道路は、外環道と成田空港を最短で結び、首都圏の国際競争力を強化するとともに、災害時における緊急輸送道路としての機能する大変重要な道路です。
県では、今年6月に開催された千葉県道路協議会において、県が都市計画・環境アセスメント手続きに着手することについて確認されたことから、現在、手続きに必要な図書を作成しているところです。
また、県、沿線市で構成する広報ワーキンググループでは、沿線の皆様に北千葉道路についてより詳しく知っていただくため、7月18日に広報紙第2号を発行すると

平成30年度の開通に向けて着々と工事が進められている状況だが、肝心の鎌ケ谷市から市川市までの区間約9キロがまだ事業化されていないことから、早期に着手し、整備することが望まれている。
そこだろうかすが、市川から船橋の小室インターチェンジまでの西側区間について、事業化に向けた取り組み状況はどうか。

要望 石井議員 北千葉道路については、今後事業化に向かって都市計画の変更や環境アセスメントなどの手続きを速やかに開始するためには、まず、道路の構造、幅員等を決める必要がある。
特にインターチェンジやランプの設置、これは沿線市のまちづくりのビジョンを決める上で大きな役割を果たしている。
このため、道路の構造をできるだけ早く決めていただき、沿線自治体と協議していただくように要望する。
北千葉道路、さらに粟野バイパス、新京成線連続立体交差事業、こうした都市基盤の整備は、利便性の向

とともに、7月下旬から8月上旬にパネル展示などによるオープンハウスを開催しました。
県としては、今後も沿線市と連携しながら、広報活動を進めるとともに、国の協力をいただきながら速やかに手続きに着手し、早期事業化に向け取り組んでまいります。
沿線市5カ所でオープンハウス
石井議員 オープンハウスの状況はどうだったのか。
県土整備部長 市川市から白井市までの沿線市にお

道路構造の早期決定を

上だけでなく、税収の増加などの経済波及効果をもたらす。
また、地元自治体からの要望も強いものがある。県として、国の予算の確保などを含め、着実かつ迅速に進めていただくようお願いする。

今後引き続き、住民の皆様へのきめ細かく、丁寧な説明に努めながら、都市計画・環境アセスメント手続きを円滑に進められるよう取り組んでまいります。
会場では、県の職員により北千葉道路の計画の概要や必要性、検討状況などについて説明し、お越しいただいた方からは、道路の位置や構造などの質問のほか、整備時期、周辺環境及び整備効果に関する意見をいただいたところでした。

石井かずみ・PROFILE

- 略歴**
- 昭和19年 鎌ケ谷市に生まれる
- 昭和38年 千葉工商高校卒業
- 同年 有限会社石井商店勤務
- 昭和62年 鎌ケ谷市議会議員当選(7期)
- 平成9年 鎌ケ谷市議会議長
- 平成27年 千葉県議会議員当選
- 現職**
- 千葉県議会 商工労働企業常任委員会委員長
- 鎌ケ谷市野球協会会長
- 社会福祉法人理事

●県政や鎌ケ谷市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

石井かずみ 県議事務所 〒273-0132 鎌ケ谷市粟野153 TEL 047-443-4731 FAX

国道464号栗野バイパス

二工区供用で渋滞悪化も

急がれる二工区工事

石井議員 国道464号栗野バイパスは平成12年度より事業化され、鋭意用地買収を行って

の緩和どころか、更なる渋滞が生じる結果になると大変危惧している。

そこだろうか、栗野バイパスの事業効果を出すためには、二工区の着手が必要と認識しているが、県はこの二工区についてどのよ

うに取り組んできたのか。国道464号栗野バイパスの二工区の検討状況はどうか。

県土整備部長 国道464号栗野バイパスは、鎌ヶ谷市内で屈折している現国道464号を直線的に結ぶ

1・7キロメートルの道路であり、鎌ヶ谷市街地の交通混雑の緩和と歩行者等の安全確保を図ることを目的としています。

このうち、一工区の県道船橋我孫子線から鎌ヶ谷市道4号線までの0・8キロ

道路西側区間の事業化に向けた動きを注視するとともに、二工区の用地取得の状況により、来年度から用地測量等に着手する予定です。

引き続き、地元の皆様との御理解と御協力をいただきます。

を優先整備区間として、用地の取得を進めているところだ。

残る二工区については、引き続き、北千葉

ながら、残る用地の取得を進め、事業の推進に努めてまいります。

石井議員 鎌ヶ谷市内、また、県北西

部の渋滞解消のため、北千葉道路とは別に、栗野バイパスの早期整備に向け、二工区の早期着手を強く要望します。

保育士の処遇改善 多様な勤務体系配慮を

石井議員 保育士の処遇改善事業の対象となる保育士の定義について、保育現場における多様な勤務体系を反映し、要件を設定する必要があると思うがどうか。

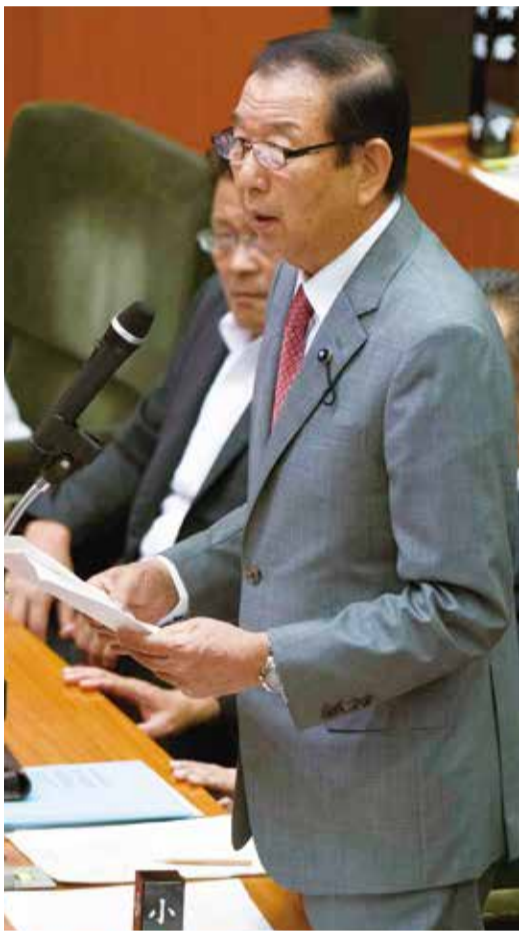
知事 本事業の制度設計に当たっては、保育士の常勤雇用・長期雇用を奨励することで、保育士の安定的な確保を図る趣旨から、補助対象職員を正規・非正規を問わず常勤雇用の保育士としています。

また、質の高い保育を提供するための多様な勤務体系があることは承知しており、市町村や施設の意見を踏まえた補助対象の要件を設定するなど、保育現場の就労状況に即した本事業の効果的な実施に努めてまいります。

石井議員 県保育士処遇改善事業については、今後、市町村の取組状況や保育士給与の推移等を見ながら効果をしっかりと検証していただきたい。国に対しては、公定価格での処遇改善加算の充実などを強く要望していただきます。

計画延長1・7キロメートルのうち、現在は一工区として船橋我孫子線の鎌ヶ谷消防署付近から鎌ヶ谷市道4号線までの0・8キロメートルの整備を行うため用地買収を実施しているところだが、終点となる鎌ヶ谷市道4号線は大型車両の規制対象道路であり、ここに国道464号からの交通が集中することになり、この一工区の供用は現在直面している慢性渋滞

新京成線連続立体交差 2年後に上り線も高架化



議場の自席で県への要望を行う石井一美県議

石井議員 新京成線連続立体交差事業についていかが。事業完了までの今後のスケジュールはどうか。

県土整備部長 県では、鎌ヶ谷市における交通の円滑化や市街地の一体化を図るため、新京成線の「鎌ヶ谷大仏駅」から「くぬぎ山駅」間の約3・3キロメートルについて、連続立体交差事業を行っているところ

です。事業完了までの今後のスケジュールですが、まず、下り線については平成29年10月21日に高架化を予定しており、上り線についても平成31年度には高架化する予定となっております。

更に、上下線が高架化された後は、仮線の撤去と側道の整備を行い、早期の事業完了を目指してまいります。

石井議員 北千葉道路、さらに、栗野バイパス、新京成線連続立体交差事業、こうした都市基盤の整備は、利便性の向上だけでなく、税収の増加などの経済波及効果をもたらす。また、地元自治体からの強い要望のある事業である。県としても、国の予算の

魅力ある鎌ヶ谷市へ 高架下利用計画策定

石井議員 新京成線連続立体交差の高架下利用計画については、これまで鎌ヶ谷市とどのように協議を進めてきたのか、また、今後どのように進めていくのか。

県土整備部長 高架下利用計画については、県、鎌ヶ谷市、新京成電鉄株式会社で組織する新京成線連続立

体交差事業協議会に高架下利用部会を設置し、高架化のスケジュールに併せて計画策定を進めております。

これまでに、高架下利用部会を5回開催し、駐輪場や歩道などの利用について、鎌ヶ谷市を含む三者で調整を図ってきたところであります。

引き続き、上下線の高架化にあたって、鎌ヶ谷市域の魅力ある街づくりに資する高架下利用が図れる計画の策定に努めてまいります。

石井議員 県有地活用にも含まれている南北自由通路の整備については、鉄道利用者の利便性や駅を中心とした回遊性の確保にとどまらず、交流拠点としてのにぎわいの創出のため、広場空間的な確保を併せ持つ、そうした機能がで

けるよう要望する。

石井議員 鎌ヶ谷市は市政施行後45年が過ぎ、新たな市街地の整備を経て、発展の時を迎えようとしている。新鎌ヶ谷駅が「街の顔」となり、魅力的な「まちづくり」を鎌ヶ谷市が進めるにあたり、新鎌ヶ谷駅周辺の県有地は、必要不可欠な用地である。是非、鎌ヶ谷市との協議を進めていただくことをお願いする。